

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	小松市の子どもたちや高齢者が快適に利用できる魅力ある公園づくり														
計画の期間	平成31年度 ～ 平成35年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	小松市														
計画の目標	小松市の美しい自然景観や歴史、文化等といった地域の特性や、子育て支援、高齢社会対応等といった地域の課題を踏まえ、都市公園の再整備や適正配置等を定めた「小松市緑の基本計画」に基づき、安宅公園を子育て世代や高齢者が快適に利用できる公園へと再整備し、都市公園ストックのより一層の活用を目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		240	A	240	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31		H35
1	安宅公園の利用者数について、子育て世代や高齢者の利用促進を図り、利用者数を20万人／年から22万人／年にする。（5千人／年増加）			
	安宅公園の利用者数	20万人	万人	22万人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		H31 R02 R03 R04 R05																		
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	小松市	直接	小松市	－	－	都市公園ストック再編事業（安宅公園）	バリアフリー園路、健康遊具等の再整備 7.7ha	小松市	■	■	■	■	■	240		－	
												小計						240		
											合計						240			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
小松市において評価を実施	令和7年11月25日
	公表の方法
	小松市ホームページで公開
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和6年は19万人／年の利用者数となり、目標の22万人／年には届かなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	子育て世代や高齢者が快適に利用できる公園となり、市内外からの利用者数の増加を見込める、より魅力的な公園となった。
○特記事項（今後の方針等）	
令和6年の結果、19万人／年の利用者数となり目標の22万人／年には届かなかったが、今回の整備によりテレビやCMの撮影に利用されるなど非常に魅力的な公園となった。令和8年度からは安宅テラス（休憩施設）等も含めて指定管理を予定しており、民間のノウハウを活用し更なる魅力アップを図る予定であり、今後目標値に近づくと推測できる。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	安宅公園の令和6年利用者数		
	最 終 目標値	22万人	本計画期間中の令和元年度末から令和5年5月までコロナ禍であったこと。また、令和6年1月には能登半島地震が発生し、公園利用者数としてマイナスの要因が重なった。
	最 終 実績値	19万人	